

専門基礎分野 授業計画

授業科目及び時間数	病態治療論Ⅴ（消化器系・腎臓系・泌尿器系） 1単位 30時間		
開講時期	1年次 前期		
担当教員	消化器医師・腎臓内科医師・泌尿器医師	実務経験	有
<p>科目のねらい・到達目標</p> <p>消化器と腎臓・泌尿器の構造と機能について学び、形態機能学で学んだ消化器系、腎・泌尿器系の知識を臨床実践に結び付けて統合し、特有の疾患の理解について深める。消化器・腎臓・泌尿器が人体のなかでどのような構造をなし、どのような役割を担うかを想起させる。その構造や機能が障害された状態（疾患）はどのような状態を示すのか整理して理解させたい。到達目標は消化器系・腎・泌尿器系の主な疾患の病態診断・治療と回復の促進について理解することとする。</p>			
授業計画・内容・担当教員			
1回目	1. 消化器系の疾患とその治療 1) 食道の疾患	講義（消化器医師）	
2回目	2) 食道～胃部の疾患	講義（消化器医師）	
3回目	3) 胃部～腸の疾患	講義（消化器医師）	
4回目	4) 腸の疾患	講義（消化器医師）	
5回目	5) 腸および腸膜疾患	講義（消化器医師）	
6回目	6) 肝臓の疾患	講義（消化器医師）	
7回目	7) 肝臓～胆嚢の疾患	講義（消化器医師）	
8回目	8) 膵臓の疾患	講義（消化器医師）	
9回目	2. 泌尿器疾患とその治療 1) 尿路・性器の感染症 2) 尿路の通過障害と機能障害 3) 尿路結石症	講義（泌尿器医師）	
10回目	4) 尿路・性器の腫瘍	講義（泌尿器医師）	
11回目	5) 発生・発育の異常 6) 男性不妊症、男性生殖器疾患	講義（泌尿器医師）	
12回目	3. 腎疾患とその治療 1) 腎不全と慢性腎臓病	講義（腎臓内科医師）	
13回目	2) 急性糸球体腎炎	講義（腎臓内科医師）	
14回目	3) 慢性糸球体腎炎	講義（腎臓内科医師）	
15回目	4) 尿細管間質性病変 5) 腎移植	講義（腎臓内科医師）	
評価方法	終了試験 筆記 100%：消化器（50%） 泌尿器（25%） 腎臓内科（25%）		
受講生に対するメッセージ	3領域の専門医師の講義によって構成されています。その合計点をもって単位認定の判断がなされます。事前事後の学修を行って十分な理解ができるよう取り組んでください。		
テキスト	系統別看護講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑧ 腎・泌尿器 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑤ 消化器 医学書院 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論 医学書院 系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進② 病態生理学 医学書院		
参考書			